

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	37
施設名	葛飾区東堀切保育園
施設所在地	葛飾区東堀切2-20-8
法人名	葛飾区

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然（虫）

<テーマの設定理由>

保育園の前が園庭であり、すぐに外遊びができる環境の中で、毎日虫探しを楽しみ、捕まえるとみんなで興味を持ち可愛がる姿が見られていたことから虫をテーマにした。

2. 活動スケジュール

R7年5月 テーマ決定
R7年6月～7月 必要物品等実施準備
R7年6月～12月 実施
R8年2月 振り返り

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

いつでも、誰でも、好きな時に虫の観察ができる様に虫のコーナーを設置した。
(コーナーの壁に飼育の仕方を掲示し、図鑑・虫メガネ・餌・水を用意する。餌によっては調理さんへの協力をお願いした。)

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

R7年6月5日

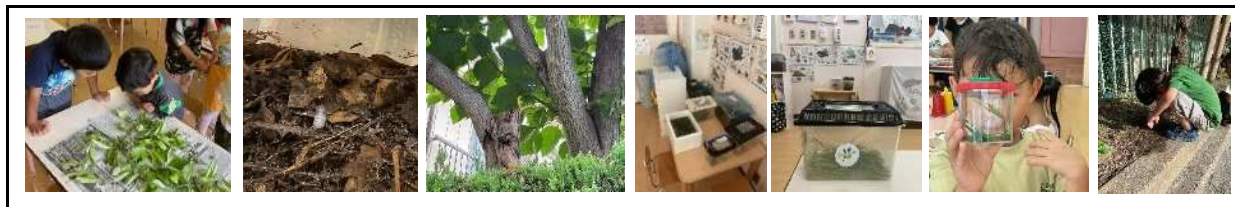
「この虫なんだろう」という問いをもとに、図鑑を用意して虫の名前や飼育の仕方を知ることがをねらいとして活動した。図鑑の使い方を知らせると文字を読むことができる子が、捕まえた虫と似ている虫の名前で目次から探し、ページがわかると近くにいた子どもたちが協力して捕まえた虫と同じものを見つける様子が見られた。

R7年6月中旬

青虫の幼虫を登園時に捕まえてきた子がいたことから、青虫と以前から飼育していたカブトムシの幼虫、園庭で捕まえたダンゴムシやミミズ、カタツムリ等自分たちで捕まえた生き物の世話をすることをねらいとして当番活動を始めた。虫が苦手だった子どもたちも当番活動はやりたがり、当番活動を通して虫への興味関心が広がっていった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

日々の生活の中で虫を捕まえたら、何を食べるかを図鑑で調べ責任を持って飼育することが身についてきた。また飼育していた虫たちが死んでしまうと「可哀想だね。お墓作ってあげようね」と土に埋めて「今までありがとう」と手を合わせる姿があり、探求心や思いやりの心が育っていることを感じた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

活動を継続していく中で、捕まえた虫は責任を持って飼育の仕方を図鑑で調べ、最後まで世話をすることが身についた。虫が苦手な子どもたちも観察や飼育当番を通して興味・関心が広がり虫に対して愛着が持てるようになった。また、虫の名前を決めたり、沢山もらったカブトムシをどうするか等みんなで話し合うきっかけがあり、色々な考え方があることに気が付いたことで思いやりの気持ちが育った。